

平成 27 年 2 月 26 日

公益財団法人 建築技術教育普及センター

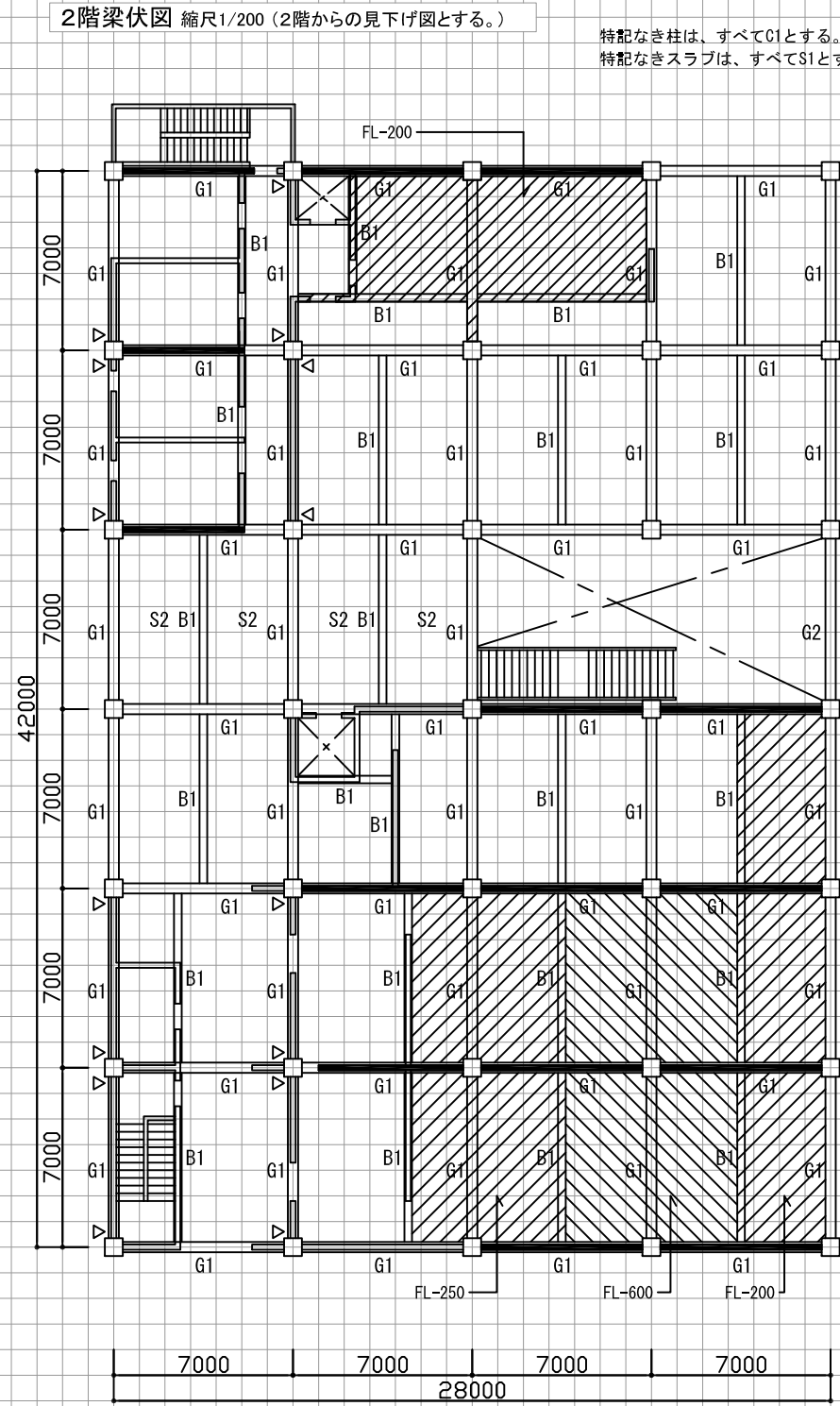
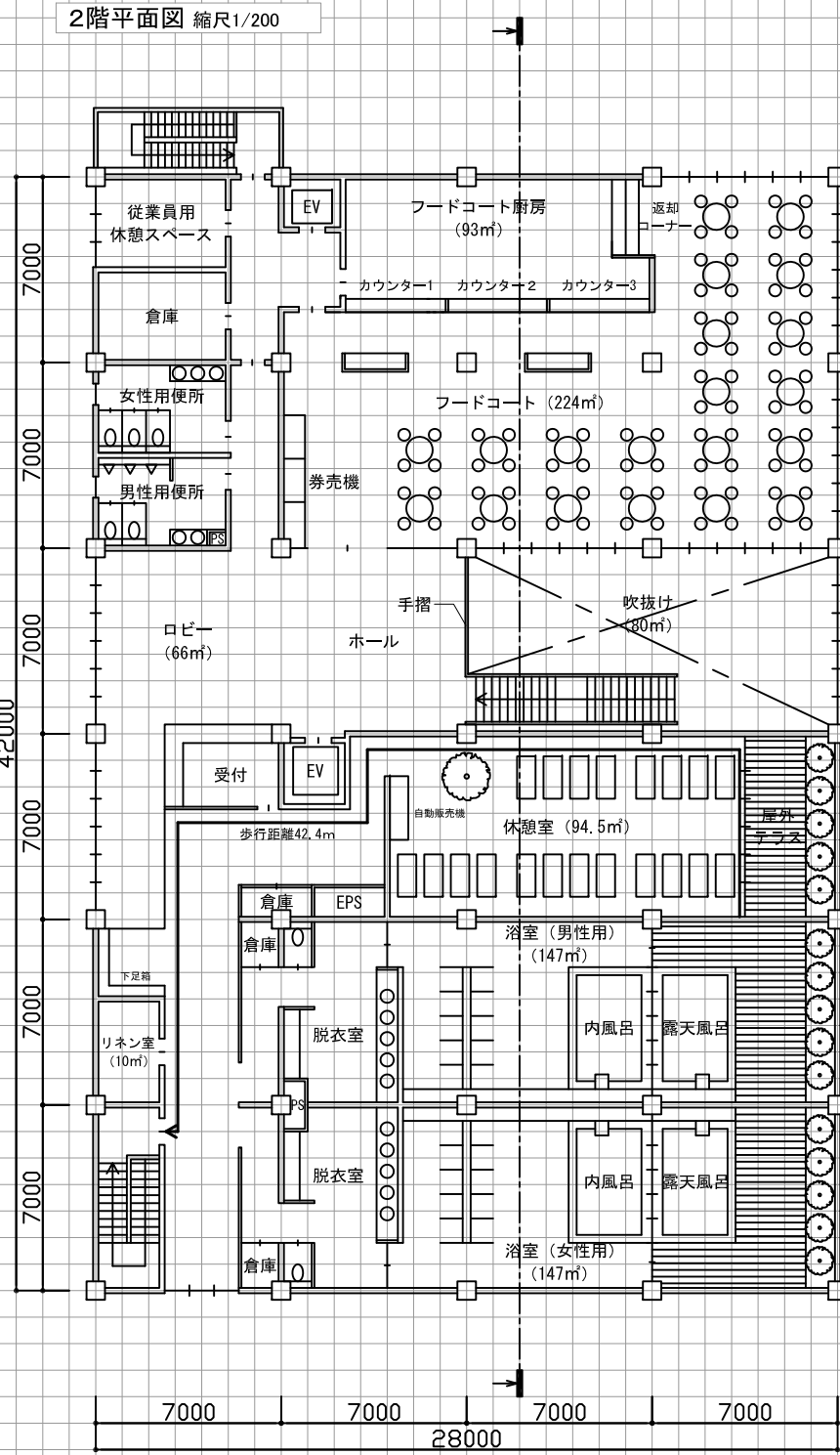
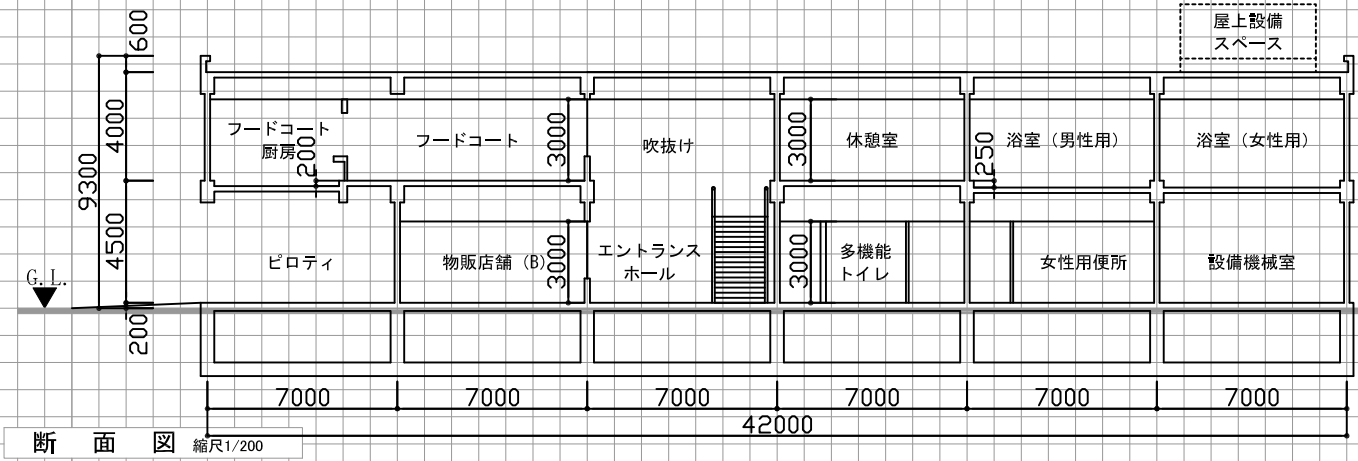
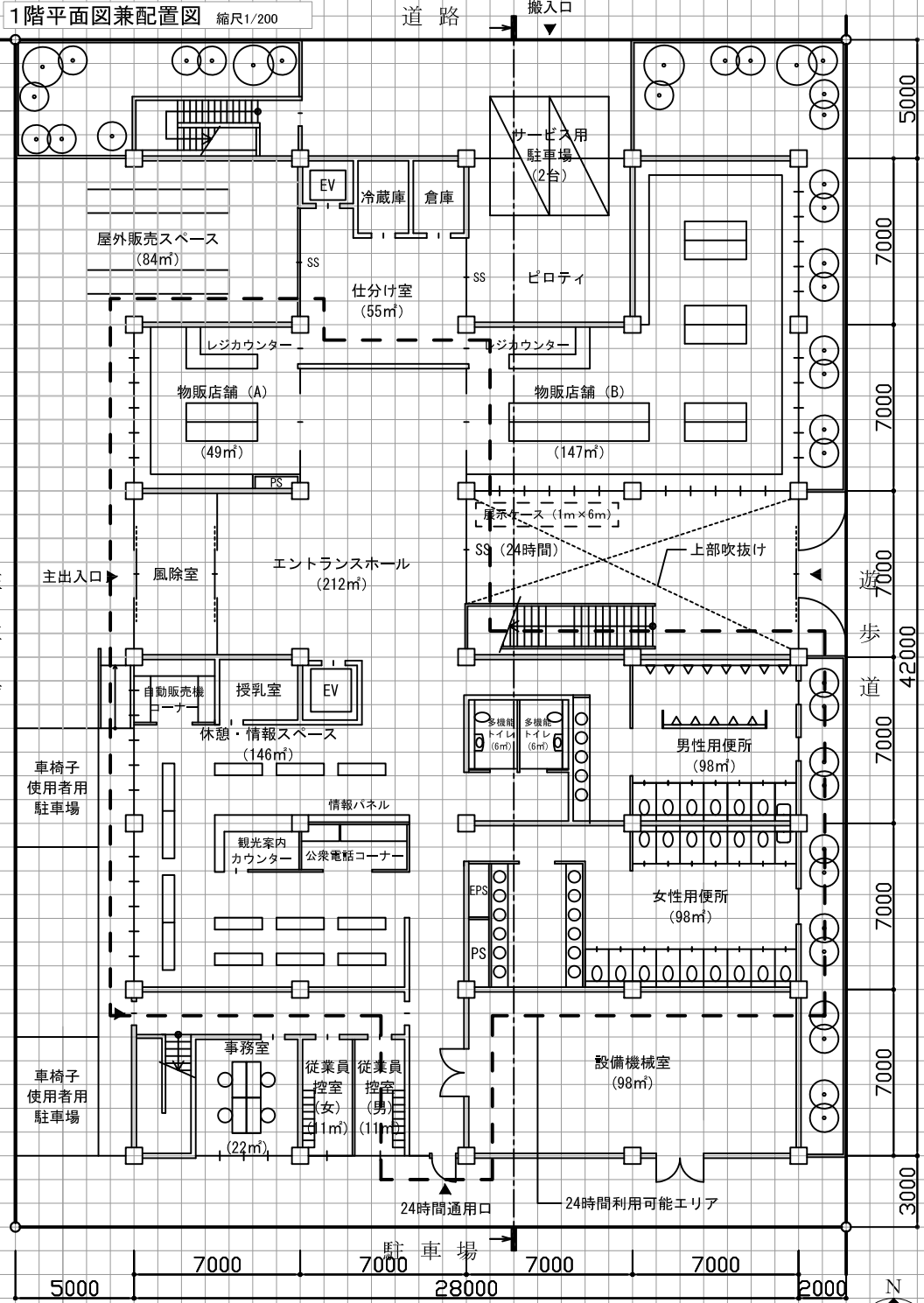
**平成 26 年一級建築士試験「設計製図の試験」(沖縄県会場)
標準解答例の公表について**

平成 27 年 1 月 11 日(日)に実施された標記試験の標準解答例(合格水準の標準的な解答例をいう。)を下記のとおり公表します。

一級建築士試験は、建築士法第 13 条及び第 15 条の 2 の規定に基づいて、国土交通大臣の指定試験機関である当センター(理事長 浅野 宏)が実施しています。

記

1. 標準解答例は、試験の透明性を高めるとともに、建築士を志す者に対して、習得すべき知識及び技能(一級建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総合的な知識及び技能」をいう。)の目安を示す資料として、当センターに設置された試験委員会で作成されたものです。この標準解答例は、当センター本部・支部及び都道府県建築士会の事務所に掲示するとともに、インターネット上の当センターのホームページ(URL <http://www.jaeic.or.jp/>)にも掲載します。なお、標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。
2. 計画の要点等については、公表することにより、解答パターンが定型化するなど、適正な試験実施に影響を及ぼすことが想定されることから、概要に留めています。
3. この標準解答例を転載・複製等する場合は、当センターの許諾を得てください。
4. この標準解答例に対する質問・問合せについては、一切お答えいたしません。



特記なき柱は、すべてG1とする。
特記なきスラブは、すべてS1とする。

個人利用の目的以外には、当センターに無断で転載・複製することを禁じます。

構造要素の凡例 (必要により、空欄に記入し、図示すること。)			構造部材表 (2階梁伏図に符号を明示する。主要な部材が複数となる場合は空欄に追加記入すること。)		
名称	記号		符号	部材	断面寸法 (mm)
耐力壁t=200mm	—		G1	柱①	700×700
構造スリット	▽		G2	大梁②	450×800
			G1	大梁①	400×800
			B1	小梁①	300×600
			S1	スラブ①	200
			S2	スラブ②	250

面積表 (算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)		建築物の床面積		合計
1階	2階	1階	2階	
(算定式) 42×28-7×7-7×7 (ピロティ) (屋外物販スペース)	(算定式) 42×28-14×7-7×3.5 (露天風呂) (屋外テラス) -7×14+ (2.2×8) (吹抜け) (階段)			
小計	1078.0 m ²	小計	973.1 m ²	2051.1 m ²

- 計画の要点等の概要
- 建築計画:
- エントランスホールに吹抜けを設け、開放的な空間となるようにするとともに、東側の遊歩道と行き来できるように計画
 - サービス用の駐車場を北側に設け、物販店舗用の仕分け室及び2階のフードコートの厨房等への搬出入を考慮した計画
 - 温浴部門における浴室及び休憩室は、湖の眺望に配慮
- 構造種別:
- 鉄筋コンクリート造
- 設備計画:
- 浴室の給湯設備の熱源方式は、電動空冷ヒートポンプ
 - フードコートの空調方式は、空冷ヒートポンプマルチ方式、室内機は天井カセット型、全熱交換器による給排気

標準解答例
(この標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。)